

「警察を廃止せよ」作戦：法と秩序を破壊するための 文化マルクス主義の陰謀

【Greachain】

現在アメリカ全土に起こっている、暴動と警察の動きの深い分析が、我々の知らなかった事実を含めて、わかり易く提供されている。ただ、最後の3つのパラグラフで言っていることが何であるか、私にはわからない。このように書かねばならなかった理由もわからないが、警察の秘密に関することであろう。彼らが今、どういう難局に陥っているのか想像ができない。Improper things とは「道徳的に不正なこと」という意味になるから、やむを得ない手段としての、警察の違法行為のようなものかもしれない。翻訳を含め、私の理解は、正しくないかもしれない。

SOTN (State of the Nation)

June 18, 2020

文化マルクス主義が、
アメリカの都市を次々に破壊している――
警察の残忍さを利用し
法執行権限を転覆させ、
警察署を廃止して、自治区をつくり出すことによって。



アメリカ全土での、特に9・11以来の警察の、ますます増大する残忍さは、偶然に発生したものではない。事実の問題として、このますます強化される、警戒すべきパターンは、特に国家的規模で、法執行機関の信頼をひそかに揺るがせようとする、あらかじめ計画された筋書きの産物である。

市民に対する絶え間のない残虐行為と、必要のない殺人もまた、この国家の警察と保安官部門の、組織化された軍事化の直接の結果である。地方の法執行機関が、あらゆる所で米連邦政府によって、準軍事的・正軍事的な、装備を与えられているだけでなく、その人員も現在は、群衆統制のみならず、個人の無能化や逮捕のために、厳しい軍事テクニクを用いて、恒常的に訓練されている。

しばしば演技による警察の残忍さの背後には、入念に隠されたアジェンダがあり、それが今、これまでになかったほどに暴露されている。ニセ旗作戦や、集団死傷事件や、警察の残忍な行動が明らかになるたびに、その本当の目的を隠すことは、もはやできなくなった。それほどに、シオニスト・ネオコンや、ロスチャイルドに資金援助されたグローバリストたちは、彼らの New World Order アジェンダを、米合衆国全体に実現させようと、必死になっている。

IDF (イスラエル防衛隊) トレーニング

アメリカの法執行官(警察隊員)のトレーニング場所のナンバーワンは、現在、イスラエルのアパルトヘイト国家である。

市や郡や州が、定期的に、トレーニングのために「平和隊員」を送っている先は、イスラエル国家である。そしてそこで、彼らは敏速に、冷酷な機械や野蛮な怪物に、姿を変えられている(その長期間のIDFプログラムに、抵抗できるほどの隊員は例外として)。

これが今、パレスチナ人がIDFによって組織的に野蛮な目にあわされているように、多くの場合アメリカの市民が、同じ目にあわされている理由である。

アメリカ全体を通じて、小さな町や村でさえ今では、彼らの隊員を、手荒さや抑圧や残酷さで知られた、このIDFのトレーニング受けさせるため、イスラエルに送っている。

実はそこには、棒に吊るした人参のような、用意周到なシステムがあり、それが密かにうまくいくように工夫され、米・イスラエル両政府にとっては、ウィン・ウィンの関係だが、アメリカの人民にとっては巨大な損失になっている。

結局のところ、イスラエル全体を支配する、現在の残酷なアパルトヘイト体制は、パレスチナ人に使われているのと同じ、武器と技術、戦略と技法によって強制されている。NWO グローバリストの究極の目標は、アメリカ人民がやがて、この同じ扱いの犠牲者になることである。これこそ sheeple (sheep+people) というミームが、今日、これほどインターネットで一般化している理由である。それは予言的プログラミングと呼ばれている。

圧倒的に高度なテクノロジーを受けさせる

なぜ警官たちが冷酷で、目つきが怪しいと思われる市民に対し、暴力的になるのか、その非常に重要な理由がもう一つある。

最近の典型的な警察車や、保安官の SUV の内部を見た人がおられるだろうか？ それは本物の飛行機のコックピットのように見える。それほど多くのテクノロジーが取り込まれているのだ！？



最も強力な IT デバイスや、エネルギー発生装置は、警察車のこの写真では見ることもできない

それだけではなく、ほとんどの警察官は、さまざまな種類の IT 装置を、一日中、自分の身体に装着するように要求されている。

また、この新式のハイテク装置のほとんどは、イスラエルで、人間の健康への配慮を完全に無視して開発されている。

イスラエルの開発者は、確実に、有効で、敏速に働くことだけを考えて、情報技術の応用を開発している。安全性は全く考慮されない——極端に向こう見ずで危険な、5G の世界

的な展開に見られるように。ただし、イスラエルは別になっている。参考：「なぜ5Gは、開発国のイスラエルでは許可されないのか？」

<http://themillenniumreport.com/2019/03/heres-why-5g-is-not-allowed-in-israel-where-it-was-developed/>

ところで、一日中、4Gまたは5Gエネルギー場に完全に取り囲まれて、パトロールカーを走らせることがどういうことか、想像してみていただきたい。そのような恒常的で高い電磁波とマイクロ波放射に、毎日さらされる警察官は、どんなに頑丈で強壮な男でも、深刻なダメージを受けるということである。

ここで肝要な点は何か？

NY やシカゴやロサンゼルスなどの、大都市の警察官が、基本的に毎日、5Gのパワー・グリッドに囲まれて車を運転し、事実上「モノのインターネット」の前に座り続けるとしたら、このEMRは、彼らの厳しい仕事の現実を押しつぶすだけでなく、年ごとにそれは確実に強化されていくだろう。

*EMR=Electromagnetic Radiation

この自動車によるIT環境が、50の州全体の警察官によって、さまざまな程度に取り込まれる害悪は、どれほどだろうか？ さらに重要なことは、何が原因で、これだけ多くの善良な保安官が文字通り「切れる」のだろうか？ 多くのユーチューブ・ビデオがはっきりそれを示している。

電気技師の警告者が、5Gの健康への危険を暴露し、頭のあらゆる小孔への5Gの侵入を説明する <http://themillenniumreport.com/2019/03/heres-why-5g-is-not-allowed-in-israel-where-it-was-developed/>

もしアメリカ人民が、これら善意の人々が毎日の仕事で、毎時間扱っていることを、本当に理解するならば、彼らの窮状について、完全に見方が変わるだろう。全く悲劇的なことに、アメリカの警官たちは——全国的に——「圧倒的なテクノロジー」に満ちた難局を押し付けられている——彼らは、正しくないこと (improper things) をやらねばならない義務がある。ある場合には、これらの警官たちはどうしてよいかわからず…あるいは、自分のやったことが、何かわからないことさえある。

平和警官が、無実の市民の命を取る口実は全くないが、多くの場合、完全な嵐がどこからともなくやってくるように見え、ある出来事を通じて吹き荒れ、それが全くコントロールできないスパイラルとなる。これがしばしば起こることがありうる——誰の落ち度でもなく。ただもちろん、本物の犯罪者が、それを自分にもたらず場合は別として。

注意書き：ジョージ・フロイドの明かにヤラセの殺人は、このような出来事**ではない**。なぜならそれは、選挙の行われる前に、計画された人種戦争にもっていくための、付随した人種暴動の引き金となる事件として、綿密に工作されたものだったからである。言い換えると、フロイドの、ショッキングだが、あらかじめ計画された殺しは、未来の人種戦争に備えて、アメリカの全都市に全面的な人種暴動を起こすために企まれた、スーパー・ストームに譬えることができる。

——以上、全体の半ばまで